

ベネズエラ

Bolivarian Republic of Venezuela

	2013年	2014年	2015年
①人口：3,093万人（2015年）			
②面積：91万6,445km ²			
③1人当たりGDP：7,745米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	1.3	△3.9	△5.7
⑤消費者物価上昇率（%）	56.2	68.5	180.9
⑥失業率（%）	7.8	7.2	7.4
⑦貿易収支（100万米ドル）	31,570	27,206	456
⑧経常収支（100万米ドル）	4,604	3,598	△18,150
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	21,478	22,077	16,367
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	122,053	109,394	n.a.
⑪為替レート（1米ドルにつき、ボ リバル、期中平均）	6.30	6.30	6.30

〔注〕①③④⑥：推計値、⑦⑧⑩：暫定値、⑦：国際収支ベース（財のみ）、⑨：マクロ安定化基金（FME）を含まず、金を含む、⑪：ベネズエラでは為替管理制度に基づき固定相場が採用されており、2013年2月から1ドル=6.30ボリバル
〔出所〕①③④⑥：IMF、②：国家統計院（INE）、⑤⑦⑧⑨⑩⑪：ベネズエラ中央銀行

2015年の実質GDP成長率はマイナス5.7%となり、2年連続でマイナス成長となった。2014年後半から続く国際原油価格の下落は、外貨収入の大部分を原油の輸出に依存するベネズエラの経済を直撃した。債務不履行を回避するため、政府は対外債務の支払いを優先しており、民間部門への輸入決済用外貨や海外への配当用外貨の割当は減少した。事業環境が悪化し、外国企業の撤退や事業縮小が相次いでいる。政治の混乱、社会不安が増大しており、ベネズエラ経済は正念場を迎えている。

■外貨不足が深刻化し生産活動が著しく停滞

IMFの統計によると、2015年のベネズエラ経済は実質GDP成長率はマイナス5.7%となり、前年（マイナス3.9%）から2年連続のマイナス成長となった。これは、原油価格の下落、対外債務支払いの増加により民間企業への輸入決済用外貨の供給制限が一層厳しくなり、国内の生産活動の停滞が極限状態に達したためだ。公的部門でもベネズエラ国営石油公社（PDVSA）による設備投資が大きく落ち込んだ。2015年のベネズエラ産原油の平均価格は、前年（1バレル当たり88.4ドル）から5割安い44.7ドルまで下落し、ベネズエラの外貨収入は大きく減少した。ベネズエラ中央銀行、国家統計院（INE）は、2014年第3四半期以降停止していた主要経済統計の公表を2016年1月に再開したが、それでも統計の公表が遅れているため経済情勢の把握が困難になっている。2015年第3四半期

表1 ベネズエラの需要項目別実質GDP成長率

	2014年	2015年				
		Q1	Q2	Q3	Q4	
実質GDP成長率	△3.9	n.a.	△1.4	△4.7	△7.1	n.a.
民間最終消費支出	△3.4	n.a.	△4.1	△5.1	△10.4	n.a.
政府最終消費支出	0.6	n.a.	△0.6	△0.1	△6.4	n.a.
国内総固定資本形成	△16.9	n.a.	2.1	△13.7	△26.0	n.a.
財貨・サービスの輸出	△4.7	n.a.	△3.7	2.7	△0.8	n.a.
財貨・サービスの輸入	△18.5	n.a.	△2.1	△7.3	△26.9	n.a.

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。全て暫定値。

〔出所〕ベネズエラ中央銀行

までの実質GDP成長率を需要項目別にみると、全ての項目で前年同期の水準を下回った。

政府は財政赤字をファイナンスするために通貨供給量を増やし続けており、2015年は前年比98.2%増加した。その結果、消費者物価上昇率（期末値）は前年比180.9%と前年の68.5%から112.4ポイント悪化した。

2016年第2四半期以降は原油価格が上向き兆しがみられるが、2016年のベネズエラ産原油の平均価格は1バレル30.4ドル（2016年6月21日時点）で、前年の平均価格を下回る水準である。政府は石油部門に依存した経済構造からの脱却に取り組み始めたが進展はみられず、2016年に経済回復とインフレの収束を実現するのは困難と予想されている。

■深刻な外貨不足により為替制度を変更

ベネズエラは2003年2月から外貨管理を行っており、輸入決済用外貨の調達、海外への配当金送金などは原則として政府の許可が必要となる。2016年3月に為替制度が変更されるまで同国には三つの公式為替レートが存在した。一つ目は1ドル6.3ボリバルの固定為替レートで、基礎食料品や医薬品など生活必需品の輸入に適用される。二つ目は政府が介入して競売形式で外貨を供給する1ドル13.5ボリバルのSICAD（シカッド）で、原材料、資材、部品などの輸入決済、ベネ

ズエラ人がベネズエラ国内で発行されたクレジットカードを外国旅行で使用の際に適用される。三つ目は変動制のSIMADI（シマディ）で、2015年中は1ドル200ボリバル前後で推移した。SIMADIは目的が限定されており、あらゆる財・サービスの輸入や外貨貯金などの用途での両替が可能だ。2015年は原油価格下落により外貨不足が深刻化したため、外貨の供給が需要に追いつかず為替制度は機能不全に陥った。特にSICADへの外貨割り当ては5億ドルと前年実績（54億ドル）から急減した。政府供給分を超える外貨需要は、政府の管理外（並行レート）で取引されている。2015年末の並行レートは1ドル800ボリバル超といわれており、公式為替レートとの間に大きな差がある。国内では並行レートに基づいて価格設定される商品もあり、物価を押し上げる一因になっている。新しい為替制度では、固定為替レートを1ドル10ボリバルに切り下げてDIPRO（ディプロ）に改称した。加えてSICADとSIMADIを一本化した変動制のDICOM（ディコム）を導入するとしたが、6月時点でSIMADIの運用が続いている。

2015年12月末の外貨準備高は前年末比25.9%減の163億6,700万ドルとなった。外貨準備高の61.4%を占める金は100億4,200万ドル（31.3%減）、IMFの特別引出権は24億6,700万ドル（75.4%減）減少した。ベネズエラは中南米・カリブの友好国との間に、原油・石油製品を低価格で供給して15年から25年の長期返済を認める協定を結んでいるが、外貨収入の落ち込みを補うため、売掛金を5割近く割引くことで、ドミニカ共和国、ジャマイカ、ウルグアイから前倒しで代金の支払いを受けるなど外貨

の確保に奔走している。

■企業の生産停止、撤退が相次ぐ

企業の生産活動が著しく停滞している。ベネズエラ工業連合会（CONINDUSTRIA）が2015年第4四半期に加盟企業に対して行ったアンケート調査（複数回答）によると、工場稼働率は平均43.9%で、2003年第3四半期以降で最低の水準となった。原材料不足が深刻化し、多くの企業が生産活動を停止している。2016年4月には食品製造最大手ポラルがビール、清涼飲料水、マーガリンの生産を停止した。コカ・コーラ・フェムサも砂糖の在庫不足によりダイエットコーラを除く炭酸飲料水の生産を一時的に停止した。国営製鉄会社シドルも原材料と電力の不足により工場の稼働を停止している。

民間自動車アッセンブラー7社が加盟するベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）によると、2015年の自動車生産台数は前年比7.4%減の1万8,300台で、ピークだった2007年（17万2,418台）から89.4%減少した。2016年も5月までの累計で前年同期比86.4%減の1,227台とさらに落ち込んでいる。このうち1,160台はフォード1社によるものだ。フォードは2015年から一部の車種を外貨建てで販売しているため、唯一生産を継続することができている。トヨタ自動車は、組立部品の輸入ができなため、2016年1月以降は生産を停止している。双日は、所有していた三菱自動車の組立工場MMCアウトモトリスの株式を現地企業に売却した。2016年5月には、ブリヂストンの米子会社がベネズエラ事業を現地企業に売却することで合意したと発表した。外貨不足の影響は非製造業にも及んでいる。ルフトハンザ航空（ドイツ）がカラカスーフランクフルト路線を2016年6月から、ラタム航空（チリ・ブラジル）がカラカスーリマ、カラカスーサンティアゴ路線を8月から運休すると発表した。外貨不足により利益の海外送金が困難なためとしている。厳しい経済情勢を受けて、2015年第3四半期までの対内直接投資額（ネット、フロー）は2億7,100万ドルにとどまっている。

■輸入は大幅減も中国との貿易は比較的堅調

ベネズエラでは石油部門の通関統計が公表されていないため、同部門を含んだ通関ベースの輸出総額は不明だが、国家税関徴税統合庁（SENIAT）によると、2015年の輸出（非石油部門のみ）は前年比2.7%増の28億800万ドル、輸入は21.4%減の303億5,800万ドルとなった。

輸出を品目別にみると、増加額が大きい順に輸送機器・同部品、卑金属・同製品、鉱物性生産品（原油・石油製品除く）となっている。輸送機器・同部品は前年比294.8%増の6億1,000万ドルと大幅増。卑金属・同製品も

表2 ベネズエラ中央銀行の外貨準備高

(単位：100万ドル、%)

		外貨準備高(各期末値)					現預金・証券割合
		合計	金	現預金・証券	SDR*1	その他*2	
13年	1Q	27,101	19,748	3,025	3,350	978	11.2
	2Q	25,801	18,074	3,374	3,368	985	13.1
	3Q	23,044	16,265	2,349	3,435	995	10.2
	4Q	21,478	15,440	1,563	3,478	997	7.3
14年	1Q	21,945	15,151	2,304	3,491	999	10.5
	2Q	21,601	15,240	1,869	3,492	1,000	8.7
	3Q	21,346	14,940	2,078	3,349	979	9.7
	4Q	22,077	14,621	3,217	3,271	968	14.6
15年	1Q	20,974	13,124	3,788	3,116	946	18.1
	2Q	16,190	11,715	2,235	1,283	957	13.8
	3Q	16,447	11,517	2,694	1,280	956	16.4
	4Q	16,367	10,042	4,571	804	951	27.9
14年末/15年末	増減率	△25.9	△31.3	42.1	△75.4	△1.8	

[注] *1 IMF特別引出権。

*2 「ラテンアメリカ準備基金」「IMFのリザーブポジション」など。

全て暫定値。15年4Qの合計は端数調整のため内訳と一致しない。

[出所] ベネズエラ中央銀行

46.2%増の3億3,000万ドルと好調だった。最大シェアを持つ鉱物性生産品も14.3%増の7億6,000万ドルと伸びた。

輸入を品目別にみると、外貨不足により多くの品目で前年の水準を下回った。減少額が大きい順にみると、機械類・電気機器・同部品は前年比20.2%減の75億100万ドル、調製食料品は50.7%減の14億3,500万ドル、植物性生産品が45.5%減の12億300万ドルだった。調製食料品の減少額が大きく、国内では食料不足の問題が深刻化している。一方、輸送機器・同部分品の輸入額は73.6%増の18億7,300万ドルと大きく伸びた。輸出入とも輸送機器が伸びたが、CAVENEZに非加盟の中国の奇瑞汽車(チェリー)や宇通客車(ユートン)の組立工場による部品の輸入や完成車の輸出などが寄与したとみられる。

仕向け地別輸出額は、前年から引き続き米国が1位、コロンビア、ブラジルと続いた。政府はコロンビアとの国境付近で密輸が横行しているとして、2015年8月にコロンビアとの国境(陸路)を封鎖した。そのためコロンビア向け輸出が影響を受けるとみられたが、輸出は微減にとどまりブラジルを逆転した。輸入は、輸出と同様に米国が1位、次いで中国、ブラジルと続く。中国からの輸入額が微減にとどまった背景には、中国によるひも付き融資がある。2007年以降、中国は国家開発銀行を通じてベネズエラ政府に総額500億ドルを融資した。ベネズエラは原油・石油製品を輸出して融資を返済している。中国の融資は一部の例外を除いて両国が合意した共同プロジェクトに使用することになっている。資材の多くが中国から輸入された結果、対中輸入額は微減にとどまったとみられる。

■原油・石油製品の輸出額は半減

石油部門の仕向け国・地域別輸出統計はベネズエラの貿易統計で発表されていないため、輸出主要相手国の統計でベネズエラ産原油および石油製品の輸入額をみる。

仕向け国の上位に変化はなく、最大の輸出相手国は米国で146億4,700万ドル(前年比49.2%減)、2位はインドで66億7,700万ドル(同48.2%減)、3位は中国で65億9,100万ドル(同39.9%減)だった。原油価格の下落の影響により金額ベースでは大幅に減少した。

石油鉱業省によると、PDVSAの2015年の産油量は日量286万3,000バレル(うち原油が274万6,000バレル、液化天然ガスが11万7,000バレル)で前年と同水準だったが、

表3 ベネズエラの品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(FOB)	2,734	2,808	100.0	2.7
鉱物性生産品	665	760	27.1	14.3
化学品	1,179	708	25.2	△40.0
輸送機器・同部品	155	610	21.7	294.8
卑金属・同製品	226	330	11.8	46.2
プラスチック・ゴム製品	83	122	4.3	46.9
機械、電気製品、同部品	108	90	3.2	△16.5
調製食料品、飲料、たばこ等	14	37	1.3	158.8
皮革・毛皮製品・ハンドバッグ	37	32	1.2	△13.2
動物性生産品	19	32	1.1	63.6
雑品	11	21	0.7	94.0
その他	237	66	2.4	△72.1
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額(CIF)	38,635	30,358	100.0	△21.4
機械類・電気機器・同部品	9,398	7,501	24.7	△20.2
化学品	6,506	5,875	19.4	△9.7
卑金属・同製品	3,800	3,097	10.2	△18.5
輸送機器・同部品	1,078	1,873	6.2	73.6
鉱物性生産品	1,577	1,634	5.4	3.7
プラスチック・ゴム製品	1,960	1,587	5.2	△19.0
調製食料品	2,911	1,435	4.7	△50.7
植物性生産品	2,207	1,203	4.0	△45.5
繊維製品	1,200	1,033	3.4	△13.9
雑品	828	900	3.0	8.6
その他	7,171	4,221	13.9	△41.1

[注] 輸出は非石油部門のみ。

[出所] 国家税関徴税統合庁(SENIAT)(2016年5月19日時点)

表4 ベネズエラの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
アジア・大洋州	238	128	4.6	△46.1	7,070	6,655	21.9	△5.9
日本	2	3	0.1	70.5	289	418	1.4	44.7
中国	168	75	2.7	△55.5	5,579	5,336	17.6	△4.4
韓国	1	4	0.2	245.2	210	280	0.9	33.6
EU28	517	423	15.1	△18.2	5,377	3,910	12.9	△27.3
オランダ	221	160	5.7	△27.7	413	345	1.1	△16.4
フランス	54	18	0.6	△66.4	471	240	0.8	△49.1
英国	47	24	0.9	△48.7	389	302	1.0	△22.4
スペイン	19	29	1.0	50.5	947	656	2.2	△30.8
イタリア	18	50	1.8	177.1	983	799	2.6	△18.7
ドイツ	5	8	0.3	55.2	1,040	841	2.8	△19.1
ポルトガル	3	45	1.6	1252.9	314	100	0.3	△68.3
その他欧州	177	18	0.6	△90.1	579	412	1.4	△28.8
北米(NAFTA)	804	619	22.0	△23.0	11,788	9,831	32.4	△16.6
米国	765	549	19.6	△28.2	9,447	8,043	26.5	△14.9
メキシコ	30	67	2.4	125.4	1,717	1,336	4.4	△22.2
中南米	938	1,495	53.2	59.4	13,317	9,139	30.1	△31.4
ブラジル	296	264	9.4	△10.8	3,923	2,415	8.0	△38.4
コロンビア	285	265	9.5	△7.0	2,217	2,173	7.2	△2.0
エクアドル	9	9	0.3	△5.8	555	371	1.2	△33.1
キューバ	4	1	0.0	△76.5	324	265	0.9	△18.3
中東アフリカ	59	125	4.4	111.3	202	183	0.6	△9.5
その他	0	0	0.0	△100.0	301	227	0.7	△24.6
合計	2,734	2,808	100.0	2.7	38,635	30,358	100.0	△21.4

[注] ①輸出は非石油部門のみ。

②地域分類は北米、中南米を除いて日本の外務省基準に基づく。

[出所] 国家税関徴税統合庁(SENIAT)(2016年5月19日時点)

表5 主要国・地域のベネズエラからの原油・石油製品輸入額

(単位：100万ドル、%)

	2014年			2015年			構成比	伸び率
	輸入額		石油製品	輸入額		石油製品		
	原油	石油製品		原油	石油製品			
アジア・大洋州	29,195	22,297	6,899	15,606	12,321	3,285	48.0	△46.5
インド	12,886	12,819	67	6,677	6,677	0	20.5	△48.2
中国	10,958	8,343	2,616	6,591	5,095	1,496	20.3	△39.9
シンガポール	4,212	0	4,212	1,775	0	1,775	5.5	△57.9
マレーシア	859	859	0	460	460	0	1.4	△46.4
日本	275	275	0	89	89	0	0.3	△67.7
EU28	3,157	2,956	202	1,653	1,443	210	5.1	△47.7
スペイン	1,693	1,676	17	838	838	0	2.6	△50.5
スウェーデン	665	665	0	329	329	0	1.0	△50.6
英国	269	269	0	118	118	0	0.4	△56.2
ベルギー	372	346	26	95	77	18	0.3	△74.6
北米 (NAFTA)	28,861	25,888	2,974	14,680	13,212	1,468	45.1	△49.1
米国	28,859	25,888	2,971	14,647	13,179	1,468	45.0	△49.2
カナダ	2	0	2	33	33	0	0.1	1,270.5
アフリカ	8	0	8	0	0	0	0.0	△98.2
中南米	2,651	1,100	1,551	577	0	577	1.8	△78.2
ブラジル	685	0	685	423	0	423	1.3	△38.2
エルサルバドル	120	0	120	120	0	120	0.4	0.7
コロンビア	47	0	47	32	0	32	0.1	△31.3
ボリビア	1	0	1	1	0	1	0.0	53.5
合計	63,873	52,240	11,633	32,516	26,976	5,540	100.0	△49.1

[注] ①各国統計局による、ベネズエラからの原油 (HSコード2709)、石油製品 (HSコード2710) 輸入額。キューバ、ウルグアイ、ニカラグアなど一部の国・地域の統計局のデータは含まれない。

②国によって統計方法が異なるため、表内にCIF価格の輸入額、FOB価格の輸入額などが混在する。

③地域分類は北米、中南米を除いて日本の外務省基準に基づく。

[出所] 各国税関データよりジェットロ作成 (2016年5月19日時点)

表6 日本の対ベネズエラ主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：1,000ドル、%)

	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	317,147	212,870	100.0	△32.9
鉄道用、軌道用の客車、貨車	66,855	98,697	46.4	47.6
ボイラー用補助機器、蒸気原動機用復水器	736	23,486	11.0	3,091.8
自動車用部分品および付属品	30,110	9,116	4.3	△69.7
貨物自動車	54,218	8,166	3.8	△84.9
コック、弁等	2,836	7,331	3.4	158.5
乗用自動車、その他自動車	15,018	5,177	2.4	△65.5
モーターサイクル	4,886	4,940	2.3	1.1
ゴム製の空気タイヤ	9,077	4,127	1.9	△54.5
ピストン式火花点火内燃機関	20,068	3,887	1.8	△80.6
エンジン用の部品	5,395	3,647	1.7	△32.4
その他	107,949	44,297	20.8	△59.0
	2014年	2015年		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額 (CIF)	286,328	115,855	100.0	△59.5
原油および歴青油 (原油)	275,452	88,856	76.7	△67.7
鉄鉱石	0	10,956	9.5	全増
カカオ豆	7,188	10,715	9.2	49.1
精製銅または銅合金の塊	0	2,810	2.4	全増
アルミニウムの塊	1,324	1,781	1.5	34.5
エチルアルコールおよび蒸留酒等	149	166	0.1	10.9
スラグ、灰および残留物	297	156	0.1	△47.3
古紙	49	88	0.1	79.5
チョコレート等	246	75	0.1	△69.6
化粧ばり用単板	0	35	0.0	全増
その他	1,623	219	0.2	△86.5

[出所] 財務省「貿易統計」(通関ベース)

2016年は大幅な減少が見込まれる。PDVSAのキャッシュフローの悪化により外国の油田サービス企業への支払いが遅延しており、油田のメンテナンス不足から生産能力が低下するとみられている。実際、2016年4月に最大手のシュルンベルジェ (フランス)、5月に大手のハリバートン (米国) が事業縮小を発表した。原油価格が伸び悩む中で産油量が減れば外貨収入がさらに減少するため、経済に与える影響は深刻だ。

■日本からの輸出は自動車関連を中心に減少

日本の「貿易統計」(通関ベース)によると、2015年の日本のベネズエラ向け輸出額は前年比32.9%減の2億1,287万ドル、輸入額は59.5%減の1億1,586万ドルとなった。主要輸出品目をみると、丸紅がベネズエラ国営鉄道公社 (IFE) に納入した鉄道用、軌道用の客車、貨車が9,870万ドルに達し、輸出額を押し上げた。自動車、自動車部品は輸入決済用外貨がほとんど割り当てられなかったため大幅に減少した。

輸入では、輸入額全体の約8割を占める原油および歴青油 (原油) が前年比67.7%減の8,886万ドルと大幅に落ち込み、輸入額全体を押し下げた。

■大統領の罷免投票実施が2016年の注目点

2016年1月に発足した新国会は野党連合が過半数を占めるが、法案の合憲性を判断する最高裁判所と与党が押さえているため、国会は機能不全に陥っている。そのため野党連合は、ベネズエラ憲法が認める大統領の罷免を実現しようと手続きを進めている。大統領の任期6年の半分が過ぎると国民投票により罷免することができるが、任期が残り2年を切ってから罷免が成立する場合は副大統領が残り任期を引き継ぐ。野党連合が政権を取るためには、2013年に就任したマドゥーロ大統領を2016年中に罷免しなければならないとされる。